

好酸球性腸炎

好酸球性腸炎

30代 男性

30代 男性

初診：2025年4月

紹介元：なし

主訴

現病歴；普段便秘、9日前から徐々に軟便→泥状便/嘔気
3,4日前に嘔吐した。

下痢症がひどかったのが、4日前で、4.5回

1週間前 焼き肉のゆっけをたべた

下痢1日5回以上 血便なし 発熱38.5度

CRP 0.48

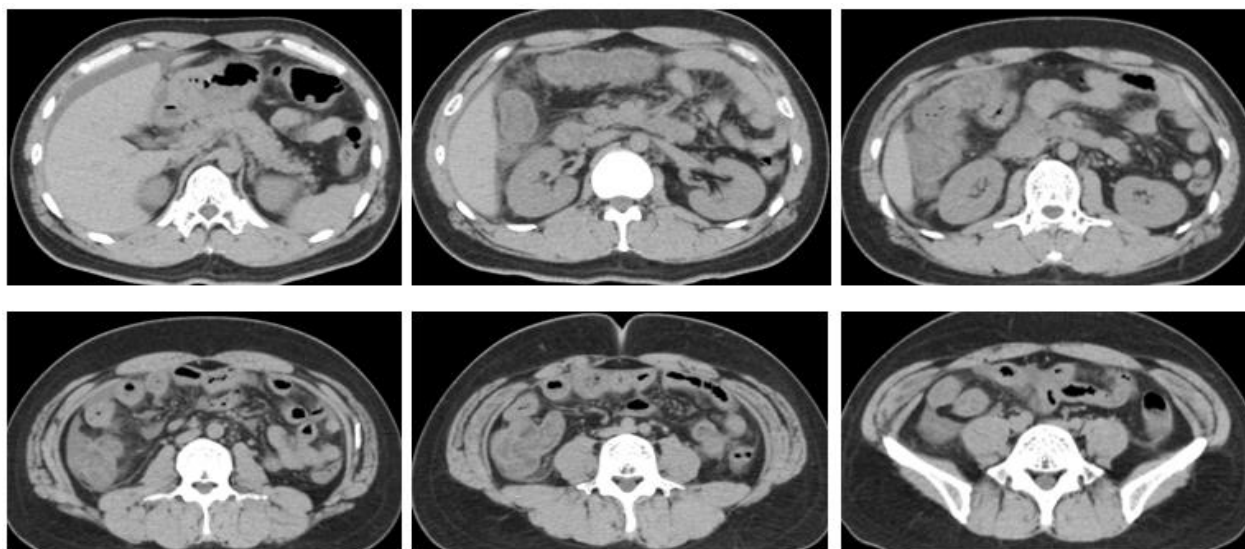
WBC 37400/mm³

好酸球 46.2% (17279/mm³)

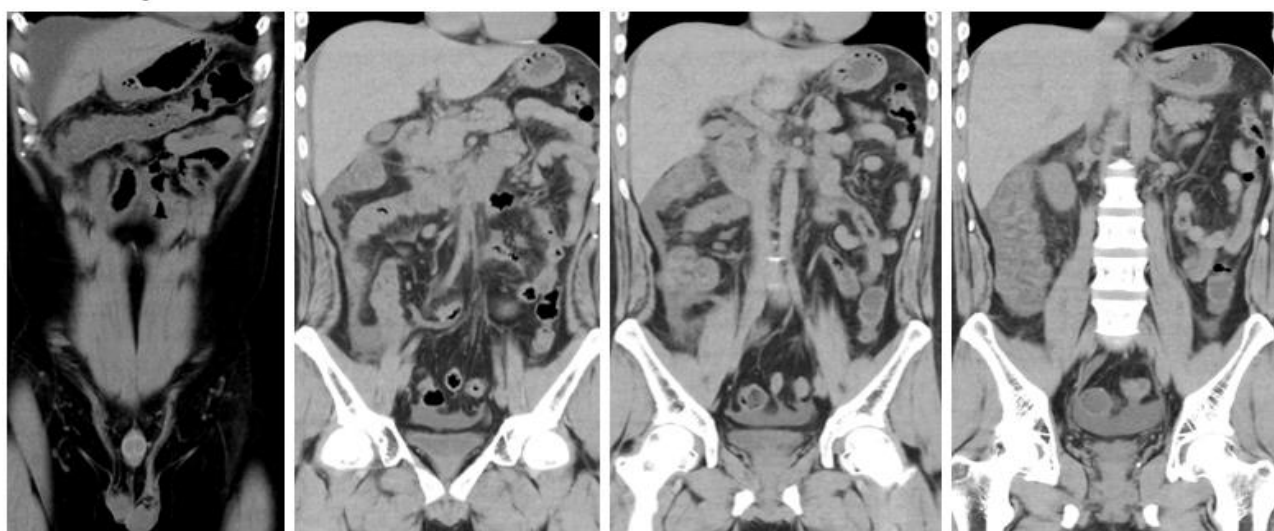
好酸球性消化管疾患（Eosinophilic gastrointestinal disorders, EGIDs）

- 好酸球性食道炎（Eosinophilic esophagitis, EoE）、
- 好酸球性胃 炎（Eosinophilic gastritis, EG）
- 好酸球性胃腸炎（Eosinophilic gastroenteritis, EGE）
- 好酸球性大腸炎（Eosinophilic colitis, EC）

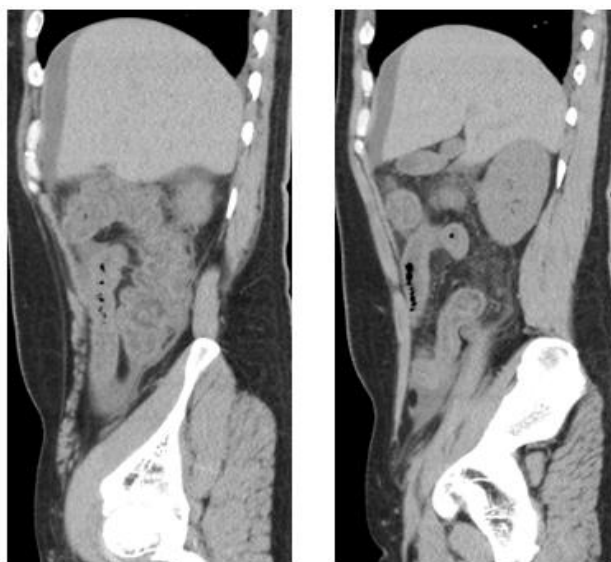
- 80%以上の例で500個/ μ l以上の末梢血好酸球の 増加
- 組織診 顕鏡 400倍 20個以上



腹水と回腸遠位部、末端 盲腸 上行結腸、横行結腸の壁の浮腫性肥厚を認める。



腹水と回腸遠位部、末端 盲腸 上行結腸、横行結腸の壁の浮腫性肥厚を認める。



腹水と回腸遠位部、末端 盲腸 上行結腸、横行結腸の壁の浮腫性肥厚を認める。

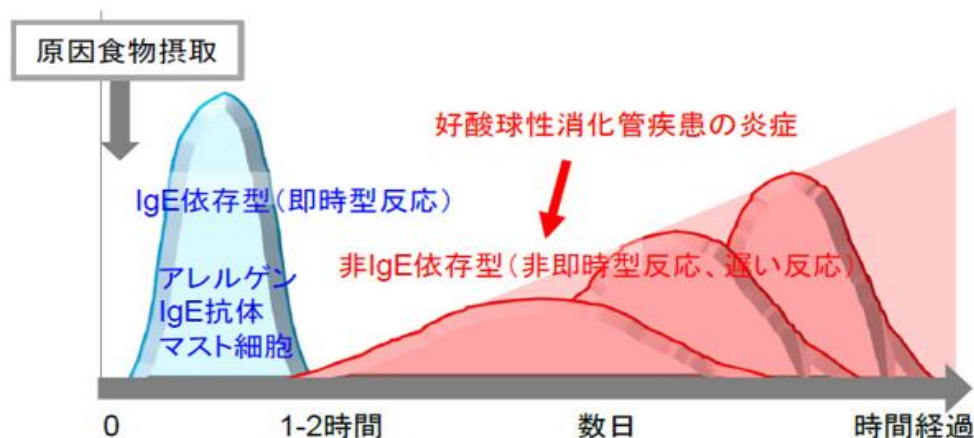
好酸球性腸炎：成因

- ・ 好酸球は寄生虫感染時に対応する血球
- ・ 寄生虫感染のないことが前提(他の炎症性腸疾患を除外)
- ・ 寄生虫の攻撃を受けたと勘違いしてHelper T リンパ球が好酸球（寄生虫をやっつける免疫細胞）を呼び寄せ、炎症を起こす
- ・ 食物内の何らかの成分が 寄生虫の抗原と類似

好酸球性腸炎：症状

- ・ 嘔吐、腹痛、腹部の張り、血便、腹水などの症状が一カ月以上
- ・ 持続型 半年以上
- ・ 間歇型 半年以内で完全回復 再発
- ・ 単発型 半年以内で完全に回復

好酸球性腸炎：発症時期



- ・ 非IgE依存型反応（非即時型反応）時には2週以上で発症
- ・ 抗原認識細胞が存在する部位（本症例であれば消化管）に限定

好酸球性腸炎 画像 内視鏡

- CTスキャン：胃、腸管壁の肥厚
腹水が存在し、腹水中に多数の好酸球が存在
- 内視鏡検査：胃、小腸、大腸に浮腫、発赤、びらん

好酸球性腸炎：治療

- グルココルチコイド：プレドニゾン

20 - 40mg/日 8 週 間

減量スピード、中止の時期、治療 抵抗例に対する対応、再発、再燃時の対応について は一定の見解はない